

平成 12 年 4 月 4 日

「全農 ET センターニュース」4 月号 (1号)

全農ダイレクト凍結法について

1. 特長

- (1) 融解から凍結までの操作が凍結精液並みの簡便さです。特別な技術・器械を必要とせず、融解から移植まで 10 分以内に行うことができます。
- (2) 受胎能が高く、ステップワイズ法と同等の受胎率が期待できます。
- (3) 融解後の受精卵へのダメージが少なく、少なくとも融解後 10 分以内に移植した受胎率には差がありません。

2. 融解から移植までの操作

- (1) 液体窒素タンクから受精卵の入ったストローを取りだし、空気中で 7 ~ 10 秒保持します
- (2) 25 ~ 35 の温湯中にストローを入れ融解します。10 ~ 20 秒ほどで結構です。
- (3) ストローの水気を良くふき取り、シールした先端から 2 mm 程度のところをアルコール綿で清拭後カットします。
- (4) 移植器にセットし移植します。
- (5) 融解後の急激な温度変化は受精卵に悪影響を及ぼします。十分気をつけて下さい。

移植成績 (ホルスタイン種; 農家庭先移植)

		例数	受胎率
全農ダイレクト	未経産牛	97	69.1%
	経産牛	288	58.7%
ステップワイズ法	未経産牛	53	66.0%
	経産牛	115	59.1%